

★好評販売中！お求めはお早めに



●埼玉県史料叢書とは？

『埼玉県史料叢書』は、『新編埼玉県史』資料編の刊行が平成2年度に完結した後、県史刊行後に確認された新出史料や、大部のため県史資料編に収録できなかった重要史料の活字化を目的として刊行している史料集のシリーズです。

●この本の内容は？

平成16年3月に刊行された10（上）巻は、『埼玉県史料叢書（そうしょ）』第9～10（上・下）2巻として刊行する「明治大正期知事事務引継書」計3冊の第2冊目です。知事の交替にあたって事務の引継書が作成されることは、当時も今日も同じであり、その内容はその時期の県政の重要ポイントのダイジェスト版ともいうべきものとなっています。

本書は、第16代昌谷彰（さかやあきら）知事から第17代岡田忠彦知事への引継ぎに始まり、第18代西村保吉知事を経て第19代堀内秀太郎知事にいたる、3年間・4人の知事にかかる引継書を翻刻しました。

岡田知事の政治は、第一次世界大戦による好況を背景とした積極主義で知られます。その施策は、県内主要河川の大規模改修や高等学校（現・埼玉大学）の誘致、武州銀行の設立、埼玉共済会の設立など、産業・教育・社会福祉をはじめとする幅広い分野にわたっており、今日の埼玉県の礎を築いたものといわれています。

その後、この積極主義は次の西村・堀内両知事に引き継がれていきますが、大正時代の末期には、大戦後の長引く不況による県財政の立て直しとともに、県内産業に打撃を与えた関東大震災発生からの産業復興の支援に力が注がれています。このように、本書は、埼玉の近代における大転換期であったといえるでしょう。



第16代知事 昌谷 彰



第17代知事 岡田 忠彦

●本書の構成

本書は、ご利用いただく方々の便をはかるため、詳しい目次や参考資料の掲載など構成に工夫をしていますので、ここで簡単にご説明いたします。

- 口絵（8ページ）：本文に関連の深い貴重な写真を、掲載しました。
- 序(2ページ)
- 凡例(2ページ)
- 目次(1ページ)
- 細目次（13ページ）：本文の内容を使いやすくするため、引継書に掲載された事業の担当部課名と件名を列記した、詳しい目次です。
- 本文（332ページ）
- 参考資料「明治22年～大正15年 埼玉県予算・決算表」（41ページ）
：『埼玉県議会史』の付録として作成された「予算決算表」を復刻したもので、冒頭に明治・大正期の予算決算における特徴などをまとめた、簡単な解説をつけました。
- 簿冊別文書目録（6ページ）
：本書では、ページ数などの事情から、原資料の一部を割愛翻刻しました。この原資料である知事事務引継書は、当館で閲覧することができますので、本書に掲載したもの、割愛したものなどが一目でわかるよう、一覧にまとめました。また、原資料の性格（活字印刷・簡易印刷・手書きなどの区別）もあわせて記しています。

●掲載内容の一例



第18代知事 西村 保吉



第19代知事 堀内秀太郎

- ・ 内務部地方課県治演説書（河川改良工事費分担金二関スル件） 大正5年10月
- ・ // （恩賜財団済生会救療規程並ニ救療額改正ノ件） 大正5年10月
- ・ 内務部土木課土木演説書（鉄道停車場道ニ関スル件） 大正5年10月
- ・ // （主要ナル処分未済事項） 大正5年10月
- ・ 内務部学務課学務演説書（教員講習会ニ関スル件ほか） 大正5年10月
- ・ 内務部勸業課勸業演説書（商工：同業組合、銀行、物産陳列館他） 大正5年10月
- ・ 関係団体（明治神宮奉賛会・尚武会・大日本武徳会・農会・日本赤十字・愛国婦人会） 大正5年10月
大正5年10月
- ・ 内務部県治演説書（高等学校設立費寄附ニ関スル件） 大正8年6月
- ・ 内務部土木課土木演説書（県工事ニ関スル件・道路整理ニ関スル件・大宮大滝道改修ニ関スル件・栗橋町地内国道橋梁架設ニ関スル件・内務省起業河川改修工事ニ関スル件・） 大正8年6月
大正8年6月
- ・ 内務部水利課水利演説書（耕地整理及開墾ノ件ほか） 大正8年6月
- ・ 内務部学務課学務演説書（盗難国宝ニ関スル件） 大正8年6月
- ・ 警察部警察演説書（伝染病予防・市街地ニ於ケル衛生設備ノ改善） 大正8年6月
- ・ 関係団体（日本赤十字・篤志看護婦人会・愛国婦人会・共済会ほか） 大正8年6月
- ・ 内務部地方課（知事訓示） 大正8年8月

